

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586020901	科目番号 / Subject code	05860209
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 13711_005		
授業科目名 / Subject	核兵器のない世界を目指して (核兵器とは何か) / Basic Guide to Nuclear Weapons		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	核兵器廃絶研究センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3限 (12:50?14:20)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	このクラスでは、核兵器廃絶への道筋を考える際に不可欠な基礎知識として、核兵器の歴史と現状を総合的に俯瞰していきます。具体的には、核兵器とはいかなる特徴を持つ兵器か、世界の国々は核兵器をめぐってどのような政策をとってきたのか、いかなる軍備管理・軍縮努力が行われてきたのか(あるいはこなかったのか)といった点を学びます。		
授業到達目標/Course goals	核兵器をめぐる歴史と現状についての基本的な知識を得るとともに、核兵器のない世界の実現に向けた課題が何かを理解し、解決への具体的方途について学生一人一人が自分の考えを説明できるようになることを期待します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	出席点および講義の際のリアクションペーパー、意見発表などの平常点が全体の60%、期末のレポートが40%です。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 )/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	核兵器、軍備管理、軍縮、抑止		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 梅林宏道『非核兵器地帯 核なき世界への道筋』(岩波書店) 1,890円		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	全回出席が原則。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	核兵器廃絶は可能でしょうか??. 答えは「あなた次第」です。核兵器の問題を切り口に、人権問題や環境問題といった人類共通の課題に対し、一人一人の個人がどのように関与していくことができるのか、この授業を通じてぜひ考えてみてほしいと思います。授業で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について イントロダクション：現代における核兵器
第2回	核兵器の誕生とその特性：核時代の始まりから広島・長崎まで
第3回	核兵器の非人道性：被爆者の体験から
第4回	核兵器の非人道性：核実験の影響
第5回	米国とロシアにおける核兵器体制
第6回	米国とロシアにおける核兵器体制
第7回	「核の傘」に依存する国々の論理
第8回	フランス、中国、イギリス、インド、パキスタン、イスラエルの核兵器とその論理
第9回	核不拡散体制の現状と課題
第10回	日本の核政策
第11回	世界の非核兵器地帯
第12回	北朝鮮の核問題
第13回	「核兵器のない世界」に向けた取り組み
第14回	「核兵器のない世界」に向けた取り組み
第15回	まとめ：核兵器廃絶に向けて「私たちにできること」

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586021301	科目番号 / Subject code	05860213
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 13721_005		
授業科目名 / Subject	核兵器のない世界を目指して (国際社会と平和) / Peace and International Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	近江 美保 / Miho Omi, 中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	近江 美保 / Miho Omi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	近江 美保 / Miho Omi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化、教育、経済、薬学、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mihoomi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟10階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2917		
担当教員オフィスアワー/Office hours	初回の授業でお知らせします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	「核兵器」はなぜ生まれ、今も維持されているのか。その背景にある国際社会の仕組みや「平和」を実現するための様々な取組みについて学び、現代のグローバルな社会における平和とは何かを多様な視点から考えます。		
授業到達目標/Course goals	核兵器のない世界の実現に向けて、自ら学び、考え、主張し、行動できるようになるために、この授業では、(1) 国際社会の特徴とそれを支えてきた考え方を理解できるようになること、(2) 国際社会をより平和にするためにこれまで実施されてきた様々な試みについて理解できるようになること、(3) それらの知識をもとに、核兵器をとりまく国際社会のあり方について、自分なりの考え方を構築し、自分の言葉で説明し、他者と協働してグローバルな問題解決に取り組むことができるようになること、を旨とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	出席、ディスカッション等への参加、リアクションペーパーの提出等平常点：40%、期末レポート：60%。レポートの採点においては、(1)課題に対して明確に答えているか、(2)授業及び文献調査等に基づき、自分の意見を述べていることができるか、(3)意見が論理的に展開されているか、を基準とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習：授業で指定された教材を読み、わからない用語や関連する問題について自分で調べておく。 事後学習：授業で使用した教材を読み返し、授業の内容とともに復習をする。自分が興味を持った問題について、図書館やインターネットで調べ、自分の考えをまとめる。		
キーワード / Key word	国際社会、平和、紛争、国連、国際法、安全保障、人権		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書：最上敏樹 『いま平和とは』 岩波書店、アマルティア・セン 『人間の安全保障』 (集英社)、ヨハン・ガルトウング 『構造的暴力と平和』 (中央大学出版部)、篠田英朗 『平和構築入門』 (筑摩書房)、君島東彦・名和又介・横山治生編 『戦争と平和を問いなおす』 (法律文化社)、日本平和学会編 『平和を考えるための100冊 + 』 (法律文化社) など。その他、授業の中で随時紹介します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	現在の国際社会 / グローバル社会は、どのように作られ、どのような仕組みを持ち、どのような問題を抱えているのでしょうか。また、それらは核兵器の存在や「平和」と、どう関係しているのでしょうか。私たち一人ひとりも、国際社会の一部です。「国際社会と平和」というテーマについて、「自分とどう関係しているか、自分はどうか考えるか」を考えるきっかけを、この授業でつかってください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに：授業の進め方について、あなたにとって平和とは？
第2回	「国際社会」とは何か：主権国家、国際社会、国際法、国際社会とグローバル社会
第3回	国連と平和(1)：国連とは何か、国連の理想、武力行使の禁止と平和的紛争解決
第4回	国連と平和(2)：集団安全保障と平和維持活動
第5回	国際社会と武力紛争：人間と戦争、冷戦・「新しい戦争」・テロと対テロ戦争
第6回	「平和」とは何か：軍事的安全保障と人間の安全保障、消極的平和と積極的平和
第7回	武力紛争と国際法(1)：国際人道法、国際刑事裁判所
第8回	武力紛争と国際法(2)：旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所、『コーリング・ザ・ゴースト』視聴
第9回	武力と平和を考える(1)：グループによるディベート準備 *具体的なディベートのテーマについては、時事問題等も考慮し、授業内で事前に告知します。
第10回	武力と平和を考える(2)：ディベート *具体的なディベートのテーマについては、時事問題等も考慮し、授業内で事前に告知します。
第11回	国際社会と核兵器(1)：殲滅の思想と核兵器、国際法と核兵器
第12回	国際社会と核兵器(2)：『風が吹くとき』視聴
第13回	市民社会と人権(1)：市民と国家、NGOの役割
第14回	市民社会と人権(2)：違いを乗り越えるということ、隣人との平和
第15回	まとめのディスカッションまたはディベート *具体的なディベートのテーマについては、時事問題等も考慮し、授業内で事前に告知します。
第16回	レポート提出 *レポートのテーマについては、授業内で告知します。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586021701	科目番号 / Subject code	05860217
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 13731_005		
授業科目名 / Subject	核兵器のない世界を目指して (被ばくと社会) / Exposed to Radiation and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 草野 十四朗 / Jyushiro Kusano, 中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 草野 十四朗 / Jyushiro Kusano		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzukitatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	核兵器廃絶研究センター (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2947		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜 17:00-19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	長崎における原爆被爆の歴史、報道に見える社会への影響、被爆体験継承の現状を基礎知識として 学び、被爆体験継承における問題点について、考える力を養う。		
授業到達目標/Course goals	?原爆の歴史を理解できる ?体験継承の歴史を理解できる ?報道における社会の動きを理解できる ?歴史や社会の動きを基礎知識として体験継承における問題点を考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	出席20、課題20、意見交換20、最終レポート40。なお講義の順番は変更になることがある。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	原爆、報道、被爆体験継承		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業計画に沿って、パワーポイント、ビデオを使用し、プリント、資料を配布する。参考書は紹介 する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	自分で調べ、積極的にグループワークに参加しよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	被ばくと社会の概要：鈴木達治郎
第2回	原爆と歴史（1）：奥野正太郎
第3回	原爆と歴史（2）：奥野正太郎
第4回	原爆と歴史（3）：奥野正太郎
第5回	歴史に関するまとめ（学生の意見交換）：鈴木達治郎
第6回	報道に見える被ばくと社会（1）：橋場紀子
第7回	報道に見える被ばくと社会（2）：橋場紀子
第8回	報道に見える被ばくと社会（3）：橋場紀子
第9回	報道に関するまとめ；鈴木達治郎
第10回	平和教育について（1）；草野十四郎
第11回	平和教育について（2）；草野十四郎
第12回	平和教育について（3）；草野十四郎
第13回	継承に関するまとめ：鈴木達治郎
第14回	長崎の復興について；桐谷多恵子
第15回	まとめ（学生の意見交換）：鈴木達治郎
第16回	予備